

姉妹都市から 新年のご挨拶



埼玉県入間市長
田中 龍夫



東京都国分寺市長
井澤 邦夫

佐渡市の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の入間万燈まつりでは、季節外れの台風に見舞われる中、佐渡鬼太鼓や佐渡民謡を披露していただき、祭りを盛り上げていただきました。また、入間市民が毎年楽しみにしている佐渡特産品を今年も堪能させていただきました。そして、「小木たらい舟・さざえ祭り」での芸能披露、「佐渡市バスツアー」「青少年交流事業サマーキャンプ」などの交流事業を通じて多くの交流ができましたことに、心より感謝申し上げます。

今後もさらなる交流事業の推進を図り、末永いお付き合いをお願い申し上げます。

さて、狭山茶の主産地である入間市では、狭山茶産地の特色である「自園・自製・自販」の伝統的な農業システムを将来に残すべく、昨年度より13市町等で協議会を発足し、“農業遺産”の認定を目指して取り組んでおります。また、貴市では佐渡金銀山の“世界遺産”登録に向けて素晴らしい取り組みをされており、姉妹都市としても引き続き応援させていただく所存でございます。両市の豊かな繁栄につながりますよう、互いに全力を尽くしてまいりたいと存じます。

結びに、貴市のますますのご発展と貴市市民のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。

佐渡市の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もこれまで同様、さまざまな形で姉妹都市としての交流を深めることができましたことを大変喜ばしく感じております。

本市史跡武蔵国分寺跡特設会場にて佐渡市の方々に演じていただいている「薪能」を昨年9月に開催しました。天候の関係で急きょ屋内での上演となりましたが、今回も大勢の国分寺市民が幽玄の世界を堪能することができました。また、本市最大のイベント「国分寺まつり」の開会式において、両市の市旗を交換しました。今後、姉妹都市交流事業やイベントを行う際には両市の旗を掲揚するなど、両市の絆のシンボルとしたいと考えております。

今年、佐渡市と国分寺市は、姉妹都市締結30周年の記念すべき年を迎えます。引き続き、多方面にわたる姉妹都市交流を推進し、より多くの市民が親しく交流できるよう、友好関係を深めてまいりたいと思います。

結びに、両市の関係のさらなる発展と、貴市の皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。